



クレス出版

宗教学・オカルト・日本思想史・催眠・医療史研究者へ！

# 術と行の近代

## —精神療法・霊術・宗教—

### 第1回配本 全4巻

吉永進一 監修・編・解説

(龍谷大学世界仏教研究センター客員研究員)

栗田英彦 編・解説 (佛教大学・愛知学院大学等 非常勤講師)

明治末から昭和初期にかけて大流行した民間精神療法家(霊術家)による、理論、実践、奥伝を含んだ冊子や定期刊行物を、内外からの批判、伝統宗教との対峙、業界の主導権争いが浮かび上がるような構成で編纂する。



2021年7月刊行 全4巻セット価格 (分売不可)

ISBN:9784866701004 商品コード: 1033732578

同時1アクセス(本体) ¥91,300 同時3アクセス(本体) ¥182,600

「術と行の近代」刊行のことば

吉永進一

民間精神療法の基本的資料については、すでにクレス出版より三つの復刻本シリーズが出版されており、その後、国会図書館デジタルコレクションでも多くの資料が公開されている。精神療法史の基本的な資料は利用可能になっている。さらに『近現代日本の民間精神療法』(国書刊行会、2019)などの研究もあり、その歴史も明らかになりつつある。とはいえ、いまだ語り尽くされずに残っている領域は広い。たとえば、技法についても未復刻の秘伝書は多く、利用者の側の体験記となるとさらに少ない。また、精神療法は、その黎明期から末期にいたるまで神道や仏教などとさまざまな交流を保ちながら存続してきたが、これについても十分には議論されていない。さらに、療法家たちのネットワークや抗争などについても、団体の機関誌や業界誌、あるいは同時代の一般誌など、定期刊行物を通さなければ分からないが、この点もまだまだ研究されていない。本叢書では、こうした点を補い、精神療法史を点から面へと広げていくという意図で資料を選んだ。

その一端を紹介しておけば、『一人で出来る健康法』は、著者による江間式や太靈道など六つの精神療法の体験をまとめたものであり、実際の体験談の記録は貴重である。『祈祷師開業手続全』は、最も容易に祈祷師の免状をとって治療を行うノウハウを説明したもので、教派神道の内実暴露を含み、新宗教研究にも参考になるだろう。『禪と催眠術』の著者はのちに駒澤大学学長を勤める岡田宜法であり、心理学者による禪の分析ではなく禪の側からの比較である。同様に『幻々要集』の著者、中村環は居士仏教者で催眠術師としても一世を風靡した幻々居士のことであり、アメリカ人仏教徒ビゲローへの説法という注目すべき一編を含んでいる。

定期刊行物としては、精神療法家を輩出し最初に業界団体を組織した古屋鉄石の『精神新報』、古屋に続いて業界のまとめ役となった清水芳洲(英範)の『精神統一』、そして清水と対立していた『通俗医学』は、業界内の人脈をたどる上で貴重な資料となろう。木原鬼仏の『心靈界』、『太靈道』、松本道別の『靈学春秋』は大本と精神療法の抗争を知る上で重要である。

このように、本叢書は、精神療法史を充実させるだけでなく、既成仏教、教派神道、新宗教も視野に含んで、行と術の近代史という、より広い研究領域の出発点となることを期待する。

<収録書一覧>

第1巻 精神療法の諸相(1)

檜山式療養法伝授録 全  
純心靈研究と現代霊術の正体

檜山鉄心(檜山鋭)  
溝田文右衛門

研精社  
皇国修霊会本部

大正7年4月19日  
大正15年8月1日

第2巻 精神療法の諸相(2)

一人で出来る健康法  
神占霊術 祈祷師開業手続 全

石黒憲輔

大阪屋号書店  
日本佛教新聞社

昭和4年10月10日  
昭和10年11月20日

第3巻 精神療法と宗教(1)

精神作興 活きた宗教 全  
胆力養成 前野式静座法

清水芳洲  
前野自錐

東京心理協会本部  
泰山房

大正13年1月28日  
大正6年9月20日

第4巻 精神療法と宗教(2)

精神作興 活きた宗教 全  
胆力養成 前野式静座法

清水芳洲  
前野自錐

東京心理協会本部  
泰山房

大正13年1月28日  
大正6年9月20日



● 表示価格は税抜きです。

2021年11月